

こんぺいとう通信

2017年5月発行 第14号

発行 高山右近資料館「ギャラリー・ジュスト」館長 奈良献児

住所 石川県金沢市小将町3-23

☎ 076-222-0430/080-6355-5886

郵便振替 00780-5-40965「ギャラリー・ジュスト」

いつてきました、列福式



高山右近公式肖像画

2017年2月7日は、日本のキリスト教にとって非常に意味のある日となりました。

高山右近が「福者」として認定され、かつ、その記念式典である「列福式」が実施された日となりました。

高山右近ゆかりの方々や、日本のカトリック教会信者が大阪城ホールを会場に集い、ローマ・カトリック教会のアンジェロ・アマート枢機卿が式の司式をなさいました。館長は列福式の入場整理券申し込み開始日に、すぐさまインターネットで申し込み、式を間近に見ることが出来ました。

今回行われた列福式が意味する

ところとは何なのだろうか、それを自分なりに考えてみました。そもそも、「福者」と言うのは、ローマ・カトリック教会における、信仰の模範として生きてきた人々を福者と認めることで、後に続く人々をキリストへと導く存在となることを意味しているのだそうです。

そこで今回の高山右近が福者となったということを考えてみましょう。過去に個人で列福された人々はいませんでした。しかし、彼だけが単独で福者と認められたのです。それだけ彼の生き方を模範にすることが、信仰の道しるべとなるということなのです。

これは、彼のように試練の中でも神を見上げて生きる尊さ、分け隔てなく全ての人と相対する寛容さ、己のものを己のものだけと考えず、誰に対しても分かち合う愛の深さなどを見做うことができるということなのです。

また、これは高山右近という人物をどう評価するかということにも大きくかかわります。彼の何が偉大であるかを理解する、その努力がキリスト教側に求められるわ

けです。例えば、彼が残した文化的遺産をどう活用するかとか、例えば茶の湯、能楽、お菓子、治部煮などを用いた活動の可能性をさらに探る努力を教会は求められていくでしょう。さらには、彼の生き方に倣う者たちの出現を希求するための指導も必要になります。

とはいえ、彼が生きた時代の状況と今日の状況の違いと同一性を良く理解することも肝要になります。高山右近追放後、240年後に起こった浦上キリシタンたちを幽閉した件との関連性を理解する必要性もでてきます。これらを一過性のものとさせず、歴史的連続性が金沢にあることを理解するこ



アンジェロ・アマート枢機卿

とが大事であると考えます。これを機に、カトリックもプロテスタントも手を携え、協力関係を築いてゆき、彼の生きざまを研究する集まりが定期的に実施されたならと願っています。

高山右近列福感謝ミサ

列福式が終わった翌々日の9日には、カトリック金沢教会を会場に、高山右近列福感謝ミサがしめやかに執り行われました。

御堂一杯に多くの人々が集い、とりわけこれまで熱心に列福を祈ってきた人々にとっては記念すべき時をすごしたことです。金沢にキリスト教が伝えられてほぼ400年が過ぎ、右近が最も長く滞在した金沢で、彼の列福を感謝する時が与えられた素晴らしい年となりました。

第3回高山右近展終了

列福式を終えた翌月の3月7日から12日まで、ギャラリーとし



ては3回目となる展覧会を予定通りに「石川県国際交流サロン」を会場に実施させていただきました。今回のテーマは、「キリシタンの視点での金沢の街づくり」とさせていただきます。その趣旨にそって展示を行わせていただきました。現在の金沢の街の主な構成は、実は高山右近と言うキリシタンによって築かれたこと、また、そのキリシタンとしての視点で各事業を実施していったこと考えるパネルを作成いたしました。このパネル作成のために、実にたくさんの皆様からのご支援をいただき、その御協力によって費用を充てることができました。ご協力いただきましたま

みなさま、ありがとうございます。

更には、金沢学院大学の講師をされておられる末松智先生のお描きになられた「色紙短冊積石垣群復元画」も展示させていただきました。高山右近の思想を反映した復元画に圧倒されました。末松先生に感謝です。

このような内容の展示に対しての新聞やテレビの取材もあり、いつも以上に有意義な展覧会を実施させていただきました。忘れてはならないのは、2年続けてグレゴリオ聖歌を歌う会を実施したことです。400年前の教会を想像しながらラテン語の聖歌を歌いました。今後、「グレゴリオ聖歌を歌う会」を発足しようか検討中です。

「ご支援感謝します

ギャラリーの働きのためにご支援をいただいておりますことを感謝しております。これまでに「ご協力いただきました皆様」の敬称は略させていただきますが、お名前を以下にお載せさせていただきます。また、今回も郵便振替を同封させていただきました。ご容赦ください。その時、領収書不要の場合、その旨お知らせください。

山岸義孝・美代子、中林均・千代子、小向三郎、高岡友の会、林俊宏・結花、奥西信之、堤朋子、柿島文人、金沢あおぞら教会、中島陽子、岩佐礼子、ハートフルインターナショナル株式会社、奈良玲子、小川和子、設楽玲子、広岡拓郎・美香、岸美礼、松村外志江、三田由紀子、密田好子、藤井辰男、金沢中央教会、他匿名希望のたくさんの皆様方

金沢・広坂甘味カフェ
「あめん堂」

ぜひお立ち寄りください。